

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第4回 おいらせ町国民健康保険運営協議会	
日 時	令和5年11月22日(水)午後3時00分から午後4時10分まで	
場 所	おいらせ町分庁舎 4階 401 会議室	
会議公開	☒ 全部公開 ☐ 一部非公開 ☐ 全部非公開 ※非公開理由()	
出席者等	委 員	【出席者】(7人) (会長) 佐々木四樓 (会長職務代理者) 近藤隆衛 (委員) 立花國雄、石田正実、佐々木映子、苔米地光雄 奈良康乃 【欠席者】(2人) (委員) 磯島泰、木村英敏
	事務局	【町民課】 課長 松山公士、課長補佐 袴田笑美子、主任主査 松林貴広 【税務課】 課長 久保田優治、課長補佐 中里浩、主査 天間広規
傍聴者数	1名	

議題等	日程1 会期の決定について 日程2 議事録署名人の選任について 日程3 議案審議 報告第1号 令和 5 年度おいらせ町国民健康保険税収納状況について 議案第1号 おいらせ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 議案第2号 令和 5 年度おいらせ町国民健康保険特別会計補正予算(案)について 4. その他 ○第 3 期おいらせ町国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)策定に係る医療費分析結果等について
-----	--

発言者	発言内容
事務局 (町民課袴田課長補佐)	定刻になりましたので、これから令和5年度第 4 回国民健康保険運営協議会を開催します。 (修礼) 開会にあたりまして、会長からご挨拶をお願いします。
会長	本日は、3つの審議案件がありますが、いつも通り活発なご意見を願いたいと思います。
事務局 (町民課袴田課長補佐)	本日の欠席委員は、磯島委員、木村委員の2名です。出席委員は7名であり、過半数以上の出席により会議が成立しておりますことを報告いたします。議事の進行につきましては、規則により会長が行うこととなっておりますので、会長に進行をお願いします。
会長	早速ですが、日程1「会期の決定について」です。 会期は本日11月22日の一日とすることにご異議ございませんか。 (異議なし) ご異議なしとして本日一日と決定させていただきます。 日程2、「議事録署名者の選任について」です。 立花委員、苫米地委員のお二方をお願いします。 日程3、「議案審議」に移ります。 報告第1号 令和5年度おいらせ町国民健康保険税収納状況について、担当者から説明をお願いします。
事務局 (税務課天間主査)	(報告説明)
会長	ただいまの説明について、質問等ありませんか。
苫米地委員	前年比で下がっているという説明でしたが、できたら数字だけでなく、原因分析も同時にご説明いただければありがたいです。こちらから質問するのが筋かもしれませんが、毎回説明があってもよいと思います。
事務局 (税務課中里課長補佐)	前年に比較して減となった理由について説明します。 まず、当初課税額の比較については国保世帯数と加入者数の減によるものです。世帯数が78世帯減、加入者数で209名少なくなっております。これにより調定額が減り、比例する形で収入額も減っている状況です。 続いて収納率が昨年と比較してマイナスになっている点についてですが、農業や自営業の方の事業収益が今年は良くないというように伺って

発言者	発言内容
	おります。農業においては高温、さらに事業者全般で物価高騰の影響を受け、手取りの収入が少なくなっている傾向にあり、納付が遅れ気味になっているということです。 農業に関してはこれから収穫を迎えるものもありますことから、今後の収益も見込めますので、納付に繋がられるように引き続き収納対策に取り組んでいきます。
石田委員	収納額の減少は世帯数の減少に伴うものだというのですが、収納率の低下についてはどうですか。
事務局 (税務課久保田課長)	先ほど申し上げたとおり、事業収益がよくないということが理由になります。
佐々木委員	納付は遅れながらも概ね納付してもらえる状況でしょうか。
事務局 (税務課中里課長補佐)	町としては、納期内納付をお願いしているところですが、どうしても納付が厳しい場合には、期別に関係なく分納していただき年度内に納めていただくよう折衝させていただいております。
会長	ほかにありませんか。なければ次に議案第1号 おいらせ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (税務課天間主査)	(議案説明)
会長	ないようですので、他になければ次に議案第2号令和5年度おいらせ町国民健康保険特別会計補正予算(案)について事務局から説明をお願いします。
事務局 (町民課松林主任主査)	(議案説明)
会長	説明が終わりました。歳入歳出について一括質疑を受けます。ご質問ありませんか。 (質疑なし) 案件の審議が終了いたしました。 次にその他について事務局から説明をお願いします。

発言者	発言内容
事務局 (町民課袴田課長補佐)	(第 3 期おいらせ町国民健康保険保健事業実施計画策定に係る医療費分析結果等について説明) ※当資料は、今後精査していくものであり公表する前提ではない。
近藤委員	データヘルス計画については全ての町民を対象とする保健活動にいろんな形でフィードバックされるものだと思いますので、考えを述べさせていただきます。 1つ目は「健康意識の動機づけを」ということです。以前、健診受診者の何名かに特典をとという話をいたしました。物をもらえというのが一番わかりやすいのですが、それだけではなく、各世代に見合ったいろんな行動を変えさせるアプローチがないものかなと思っています。 もう1つは、「長期的な視点も併せ持った政策を」ということです。健康づくりに関する事業は、40代から高齢者までが中心になっているように思えます。ただ、運動をしていない人の割合も20代、30代は多いはずで、そこから将来生活習慣病が生まれますので、飲酒喫煙や偏った食生活習慣も習慣づく時期ですし、これから若い人向けの新しい取り組みも考えるべきではないでしょうか。他の自治体でも20代の人向けに健康意識についてのアンケートなどをやっているところもありますし、協定締結企業と手を組んで新しい取り組みができないかなと考えております。
事務局 (町民課袴田課長補佐)	1点目、健康意識の動機づけとして特典の他にもさらに行動変容を促すアプローチが必要ではないかというご提案ですが、町では特定保健指導の人たちが8割、リピーターという現状を受け、新たなアプローチが必要であるという、同じ考えを持っております。現在担当保健師と新しい取り組みを研究しているところでございます。 2点目、長期的な視点で全町民に向けた取り組みをという点についてでございますが、おっしゃるとおり、若い世代において国保の加入者の方が少ないという現状を鑑みれば、いくら健診事業を実施しても若い世代に保健事業を届けられない現状にあります。委員のおっしゃるとおり取り組みとしては、国保になる前の全世代を対象としたものがが必要です。そのため、保健こども課、健康増進部門と打合せを行い、国保における課題を共有し、若い世代からの健康づくり、生活習慣病対策への連携した取り組みについて話し合ったところです。
近藤委員	ありがとうございます。 データヘルス計画と離れますが、今年度報告のありました高額介護合算療養費の事務については、その後いかがでしょうか。

発言者	発言内容
事務局 (町民課松山課長)	高額介護合算療養費と高額療養費の外来年間合算の時効分については、9月議会でも説明し、10月に私が訪問しました。現時点では、32件中30人が申請済です。残り2件は、対象者がお亡くなりになっていて推定相続人の方が町外にいらっしゃいますが、今のところ反応がない状況です。
近藤委員	ありがとうございます。 それから、国保とは話がずれますが町の会計制度は単式簿記ですが、企業会計に長年携わった身としてはわかりにくいと考えています。複式簿記は検討されないのでしょうか。また、町の監査に関しては外部からの公認会計士の目が必要ではないかと思いますがいかがでしょうか。
事務局 (町民課松山課長)	町の会計については単式簿記となっており、企業会計をやっていた方にはなじまないと思います。ただ、作り方に関しては、法律の規定に基づくものでございますので、ご了承いただきたいです。なお、自治体内でも一部、病院や下水道部門は公営企業会計をとり複式簿記となっている部分もございます。また、監査については私からはお答えできない部分でございますので回答は控えさせていただきます。
近藤委員	国保に関連しない分野でいろいろと意見や質問を提出していますが思うように回答が得られないときもあるように感じています。 いずれにせよ、単式簿記では単にお金の出入りのみで非常にわかりにくく、世界に目を向けると単式簿記を用いている事例は少ないようですので、変えていくことも検討すべきかと思います。
事務局 (税務課久保田課長)	町では「町民の声」という制度を設けており、書面やホームページでご意見等をお寄せいただければ、担当部署が回答することになっておりますので、こちらを活用してご意見提出されてはいかがでしょうか。 単式簿記については、我が国の制度上のことですのでご理解いただきたいです。
石田委員	近藤委員のご意見に対して国が制度を変える必要があるとの説明でしたが、町からの声を国あるいは県に届け、提言提案することもいいのではないかと思います。 医療費分析に戻りますが、入院医療費については関節疾患が3番目に多いようですが標記していないのはなぜでしょうか。 また、HbA1cは数値が悪ければ悪いほど治療率が悪いということでしょうか。
事務局	関節疾患ではなく脳梗塞を第3位に持ってきた理由は、令和4年では

発言者	発言内容
(町民課袴田課長 補佐)	関節疾患が第3位になっていますが、令和3年、令和2年の医療費をみると脳梗塞のほうが上位になっているためです。 また、HbA1cの数値と治療率の関係ですが、表を見る限りはそう解釈できると思います。
会長	他にありませんか。 なければ、以上で会議を終わります。
閉会	午後4時10分